

令和7年度 第3回

大阪市立今川小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立今川小学校

校園長名 吉川 秀樹

日時	令和8年3月6日(金) 午前10時00分～11時00分	
場所	大阪市立今川小学校 校長室	
8	委員	会長・副会長・(委員)5名 計7名
	校園	(校長)吉川 秀樹・(教頭)宮本 聖司・(教務主任)
	区役所	保健福祉課長代理 1名
議題	①「運営に関する計画・自己評価」最終評価について②「大阪市小学校学力経年調査」結果 ③「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果④「児童アンケート」「保護者アンケート」結果	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	① 「運営に関する計画・自己評価」における最終評価の通り	○会長より、評価がCとなった項目について、学校として取り組みを推進し、改善していかなければならないという意見をいただき、協議を深めた。委員より、学校の先生は、子どもたちに対して、日々取り組みを進め、一生懸命取り組んでくれているが、家庭への協力を促していく必要があるという意見をいただいた。学校と家庭、地域が一体となって取り組みをすすめていけるようにしていくことを再認識した。 ○委員より、ICTの活用について意見をいただいた。授業の中でどのように活用し、子どもたちの学びを深めていけるのかという視点をもって、ICT機器の活用を考えていく必要があるという意見をいただいた。 ○委員より、不登校についての意見をいただいた。中学校になるとさらに不登校の数が増えていく現状があること、家庭状況が「しんどかったら無理して学校に行かなくていい」という考えが広まっていくことがあり、複雑さが増しているという意見をいただいた。学校と家庭、地域、福祉機関などが連携して取り組んでいかなければならないということを再認識した。
	② 「大阪市小学校学力経年調査」および「保護者アンケート・児童アンケート」結果の通り	○学識者より、学力面の成果が見られないことに対して意見をいただいた。児童アンケートより「学校が楽しい」「先生に相談できる」という項目が高いことから、子どもたちは安心して学校に通えるという土台が作られているにもかかわらず、大阪市の平均以下になることにもどかしさを感じるということであった。ICT機器を使って、「面白い授業だった」で終わるのではなく、多様な子どもたちの意見をまとめるファシリテーターとしての能力を高めることで授業改善につながるという意見をいただいた。より深い教材研究と子ども理解をすすめることで、子どもたちが「わかった」「できた」と感じることのできる授業を行うために進んでいく方向を確認することができた。

	③ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の通り	○委員より、子どもたちの意識と学校・家庭の意識が結びついたことが結果につながったのではないかという意見をいただいた。子どもたちの意識が外で遊ぶ、体を動かすということに向いており、学校での取り組みを今後も継続していくことで、全国平均以上の結果を続けていくことができるのではないかという意見をいただいた。家庭への啓発も引き続き行っていく必要がある。
協議 資料	「運営に関する計画・自己評価」最終評価 「大阪市小学校学力経年調査」結果 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果 「児童アンケート」「保護者アンケート」結果	
備考	傍聴者[ 0 ]名	